



なぎさ

小松市立安宅小学校 学校だより

NO. 2

令和3年5月7日

校長 広見 理恵

授業参観に参加いただき、ありがとうございました



4月23日(金)は、第一回目の授業参観にご来校いただき、ありがとうございました。コロナ禍の状況悪化もあり、延期も考えましたが、感染防止対策を行ったうえでの開催に踏み切りました。多くの保護者の皆様が、ルールをきちんと守っていただいたおかげで、河北・河南での入れ替えもスムーズに行うことができました。本当にありがとうございました。

また今年、運動場への駐車も試行してみました。いくつか改善点もありますが、運動場の駐車自体は、今後も実施できる見通しがたちました。案内通りに駐車していただいた保護者の皆様、駐車係の仕事を引き受けてくださった役員会の関戸さん、東さんには、心より感謝申し上げます。

子どもたちの様子については、低学年は元気いっぱい、高学年は落ち着いた授業風景を見ていただけたのではないかと思います。本来なら、今年はPTA総会と学級懇談会を開催し、学校が目指している教育活動の方向性について、保護者の皆様と意思を交流し合う機会をどうしてもとりたいて考えていたのですが、実施できず本当に残念です。今後、様々な機会を捉えて、保護者の皆様に発信していきたいと考えていますので、宜しくお願いいたします。

立場が人を創る ~任命式~



4月21日(水)5限目に、任命式を行いました。コロナ感染防止を鑑み、1・2年生はリモートでの参加で、体育館には3~6年生が集まりました。まず、ピンとはりつめた空気の真剣さに驚きました。3~6年生の座る姿勢が本当に素晴らしかったです。

そして児童会担当の小林先生の呼名で、各リーダーが返事をしてその場に起立しました。その張りのある声と、立つときの姿勢がどの子も素晴らしく、練習の成果をしっかりと発揮できていました。

その後の各委員長と運営委員からの抱負の言葉も堂々としており、今年の児童会にも大きな期待を抱くことができました。リーダーになって全力で取り組んだ人にこそ、見えてくる世界があります。またその経験をした人が、本当に人を支えることができるのだと思います。「立場が人を創る」という言葉がありますが、自分の可能性を信じて、ぜひ全力でチャレンジしてほしいと思います。

また、今年の運営委員の皆さんが考えてくれた児童会目標が「全校で協力して、一人一人の個性を伸ばして輝かそう」です。全校児童298人が、この児童会目標のように、一人一人それぞれの良さを輝かせて学校生活を送ることができる、そんな児童会活動になることを大いに期待しています。



学校の主人公は子どもです。「子どもが主語になる学校」を目指し、子どもたち自身の手で自分たちの学校をよりよくしていく、集団自治力を高める支援をしていきたいと思っています。

どきどきわくわく! 春の遠足



1年 ~加賀市方面~



2年
~加賀市方面~



4年 ~能美市方面~



5年 ~金沢市方面~



3年 ~白山市方面~

6年生は6月に日帰り合宿があるため、今回はお留守番でした。真剣に授業に集中したり、休み時間はのびのびと過ごしたりと、とても楽しそうでした。

4月30日(金)、1~5年生が春の遠足に行ってきました。午後から天気の変化も予想されたのですが、どの学年も昼食には影響がなかったようで、ほっとしました。去年はなかった春の遠足を無事実施できて本当によかったです。